



平成 22 年 3 月 24 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 崎 雄 一 郎
(コード番号 : 2191)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 山 本 龍 平
T E L 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

セレンクリニック神戸において、「がん樹状細胞ワクチン療法」の 技術・ノウハウ提供を開始

当社（東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎、資本金：4 億 634 万円）は、平成 22 年 3 月 29 日より、医療法人社団 医創会（東京都港区、理事長：友田 岳志）が運営するセレンクリニック神戸に対して、樹状細胞ワクチン療法^{*1}を中心とする当社独自のがん治療技術・ノウハウ「アイマックスがん治療（免疫最大化がん治療：Immune maximizing therapy for cancer）」の提供を開始いたします。本件は、当社にとって関西地区における 2 ヶ所目の技術・ノウハウ提供となります。

「アイマックスがん治療」とは、樹状細胞ワクチン療法を中心として、これに化学療法（メトロノーム化学療法^{*2}）および放射線療法（低侵襲放射線療法^{*3}）等を組み合わせることで、患者の免疫機能を最適化・最大化させて効率よくがんを攻撃することを目指す、当社独自のがん治療技術・ノウハウです。

本件の技術・ノウハウ提供開始は、「マイルストーン開示に係る事業計画」（平成22年12月期～平成24年12月期）で公表している契約医療機関の開拓計画（関西地区3月）を計画どおり実施するものでありますので、業績への影響は軽微であります。

以 上

※1：樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの特徴を持つ物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球ががん細胞のみを狙って攻撃する新しいがん免疫療法。いわゆる「がんワクチン療法」のひとつであり、自己の細胞を用いるため、副作用はほとんどないと言われています。

※2：メトロノーム化学療法

メトロノーム化学療法（低用量抗がん剤療法）は、低用量（副作用のほとんど出ない量）の抗がん剤（化学療法）を継続的に服用し、主として腫瘍血管新生を抑制することにより進行がん・末期がんの患者様の延命をはかる体に優しいがん治療です。負の免疫を抑制することにより抗がん免疫を増強するという報告もあります。

※3：低侵襲放射線療法

IMRT（強度変調放射線治療：専用のコンピュータを用いて、複数のビームを組み合わせて放射線に強弱をつけることで、高い精度でがんの部分だけに集中して照射する方法）専用の放射線装置を用いることで、がん細胞のみを攻撃する放射線療法。がん細胞の周囲にある正常細胞を傷つけることが少ないため、体への負担が少なく（低侵襲）、免疫力を下げない療法と言われています。